

平成22年度まちづくり地区懇談会の開催結果をお知らせします

テーマ：食・農・アートから考えるまちづくり

～新しいまちづくりの方向をさぐる～

次 第

- 1 副市長あいさつ
- 2 食・農・アートから考えるまちづくり（新しい総合計画）
- 3 質疑応答・意見交換



開催会場等と掲載ページ

開催月日	会場名	参加者数	掲載ページ
10月13日(水)	落合生活館	4人	2
	日東福祉会館	8人	3～4
10月15日(金)	我路生活館	3人	4
10月18日(月)	東4条福祉会館	11人	5～6
	東福祉会館	7人	6～8
10月19日(火)	茶志内中央福祉会館	7人	8～9
10月20日(水)	東明西福祉会館	8人	9～10
	南美唄福祉会館	11人	11
10月21日(木)	進徳生活館	3人	11～12
	光珠内福祉会館	3人	12～14
10月22日(金)	西美唄福祉会館	7人	14～15
	峰延福祉会館	6人	16～17
10月24日(日)	市民会館	8人	17～19
計	13カ所	86人	

平成 21 年度一般会計決算について

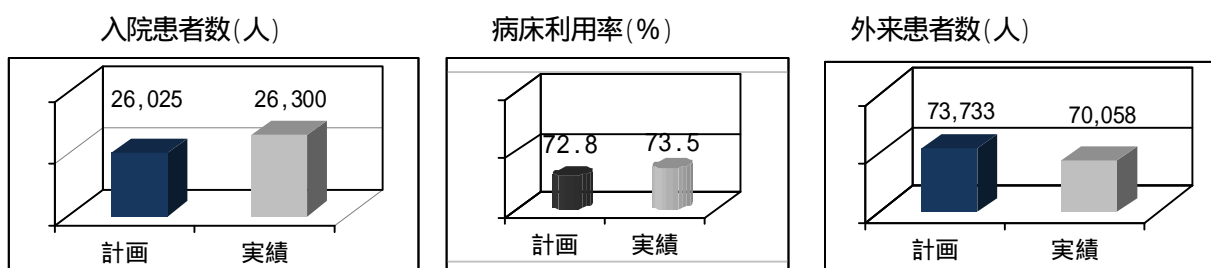
- ・実質収支で約 3 億 2,000 万円の黒字となりました。黒字の主な要素としましては、地方交付税の増加や、財政健全化に取り組んだ結果です。
- ・健全化判断比率等については、指標の一つである「早期健全化基準」を下回っています。
- ・平成 21 年度一般会計決算

単位：円

歳入	18,072,626
歳出	17,721,849
差引	350,777
翌年度繰越額	30,439
実質収支	320,338

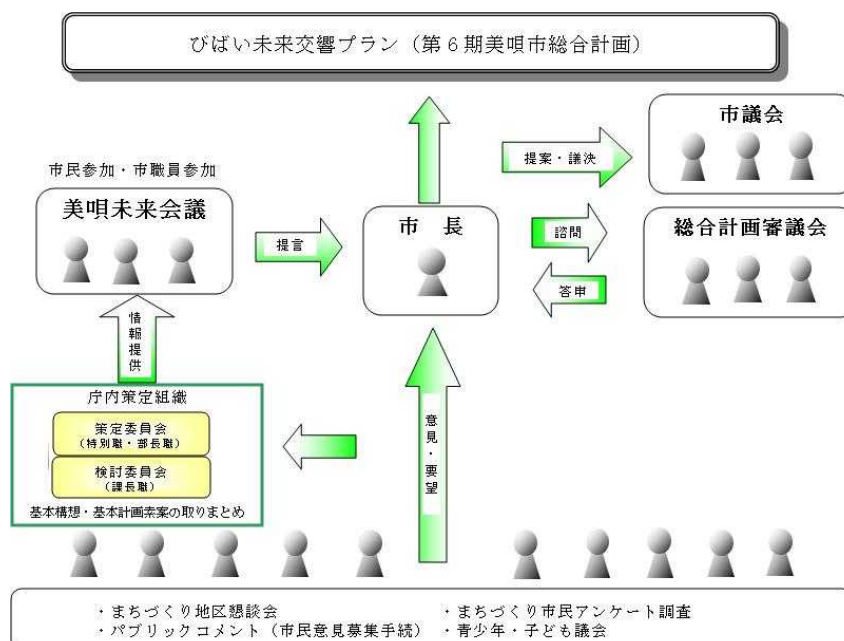
市立美唄病院の経営状況について

- ・市立美唄病院の資金不足比率は経営健全化基準の20%を上回っていることから、平成22年3月に経営健全化計画を策定し、その推進、進行管理に努めており、今後さらに健全化に向けた取り組みを進めていきます。
- ・平成21年度では、計画と比較すると外来患者数は下回ったものの、入院患者数や病床利用率はやや上回り、不良債務を計画よりも2,513万円多く解消できました。



びばい未来交響プラン（第6期美唄市総合計画）を策定中です

- ・平成 23 年度からの 10 年間の総合計画を策定中です。
- ・10年後のまちのイメージを描く都市像を「食・農・アートが響き合う緑の都市美唄」としています。（計画素案の段階です。）
- ・将来的には人口の減少が見込まれますが、美唄の強みである「食」・「農」・「アート（芸術的財産や市民の皆さんの文化活動）」を活用し、相乗効果を発揮させてまちの活力づくりを進めていきます。



開催結果

開催日時 会場	平成22年10月13日(水) 落合生活館	参加人数	4人
<主な質問・意見と回答> 平成21年9月の食の駅の基本構想で農産物の販売、加工と「美唄の強み」との関連性について伺う。 市民の皆さんの意見をもとに、食の駅の基本構想を策定しました。食にこだわったまちづくりを基本に、アンテナショップP i P aやピパマート等において、情報発信に取り組んでおり、食育推進計画で、食、農を知っていただき、その成果により食の駅の構想を計画に位置づけることとしています。 美唄市は食を1つのテーマとして、まちづくりを進めます。農業を活かし、一次産業だけでなく、二次、三次産業と協力して行い、食を通じて美唄の役割を果たしていきます。 美唄市移住定住推進協議会は、ずっと続けるのか。 市と民間の皆さんと一緒に一昨年より行っています。柱としては、短期移住で市内民間のアパートやマンションの空き室を利用していることと、市のホームページなどに市や民間の不動産情報を掲載し、情報発信していることです。現在まで2名が定住に至っています。 問い合わせでは、家庭菜園のできる賃貸住宅を希望されている方が多く、市だけでなく、民間アパート、建設業者等の皆さんと協力して、今後も継続していきます。 落合町の入初で鮭の放流をしていたが、どうなったか。 魚道を設けていなかったため、放流した鮭が遡上できないので、現在は行っていません。 炭鉱の慰霊碑付近の整備はどうなったか。 我路ファミリー公園の奥に慰霊碑があり、公園管理の中で草刈を行っています。付近の散策路も復活させたいと考えています。我路ファミリー公園は札幌からキャンプをする人も訪れています。なお、原炭ボケットなどの炭鉱遺産については将来的に案内看板を設置したいと考えています。 美唄富良野線の開通はいつか。 これから工事にかかるトンネルまで橋が6橋あり、相当時間がかかる見込みです。			

開催日時 会場	平成22年10月13日(水) 日東福祉会館	参加人数	8人
<p><主な質問・意見と回答></p> <p>日東地域は、買い物や通院などで、バスが必要なので、小さなバスでいいから足の確保をお願いしたい。</p> <p>国の補助制度を利用して、公共交通のあり方について協議しています。実証運行やアンケート調査を行い具体的な方策を決めていきます。(平成23年3月まで)</p> <p>農協のバスを利用しているが、商品はすでに売り切れている。買い物の時間が30分と短くて使いづらい。</p> <p>3カ月の実証運行を行い、今後、冬の利用状況を踏まえて改善できるところは改善してもらうよう要望をいたします。</p> <p>コアビバイの買い物バスの時間も延長してほしい。乗り合いタクシーも使いづらい。</p> <p>それも合わせて要望します。</p> <p>乗り合いタクシーは会員登録制なのですが、まだ利用がありませんので、利用方法についてさらに検討していきます。</p> <p>乗り合いタクシーは3～4人乗車でないと1人の乗車では割高になる。</p> <p>タクシー料金制度の問題があり、運輸局の認可制の関係でメーターによる料金以外は認められていないので、北海道の実情に合わない部分は、北海道特区として規制をはずして、地域の実情に合わせることを提案したいという話しも聞いていますので、今後検討していきます。</p> <p>市立病院の医師の配置は何人か。内科で入院ができるようにしてほしい。</p> <p>常勤医8人、内科1人、外科3人、小児科2人、整形外科1人、療養病床1人です。</p> <p>今後求められるのは、総合医や、家庭医であり、福祉と連携することが地域に必要なだと考えています。高度な医療が必要であれば、砂川市立病院に行くなど、一次医療としての役割、そういった可能性をもって進めてまいります。</p> <p>内科の入院再開には、内科医の増員が必要となりますので、引き続き医師確保に努めていきます。</p> <p>美唄駅待合場所は、冬季には、風が吹き込み寒いので対策を考えてほしい。</p> <p>方法を検討いたします。</p> <p>空き地の管理が行き届いていなく防犯上困っているので、木や草の伐採をお願いしたい。先日も訪問販売の人が玄関に入ってきた。</p> <p>土地所有者を確認いたします。また、悪質な業者がきたら、市に連絡していただくか、警察に通報してください。</p>			

市道と道道の交差点の安全性確保のため、信号機の設置をお願いしたい。

信号機の設置は公安委員会で行っていますので、地域から要望があることを窓口である警察へお伝えします。

福祉会館の入口に階段はいらないので、全部スロープにしてほしい。トイレは洋式にしてほしい。

冬期間スロープは、凍結して滑るため危険ですが、地域での要望ということであれば、検討いたします。便器については、他の公共施設でも、一部和式を使用しているところがあり、地元で意見をまとめていただければ検討いたします。

開催日時 会場	平成22年10月15日(金) 我路生活館	参加人数	3人
<主な質問・意見と回答>			
脳疾患、心疾患の救急の搬送先はどこか。			
南空知の搬送先は岩見沢市立病院ですが、砂川市立病院も搬送先としています。			
救急車の数は。			
2台保有しています。1台は本年更新いたします。			
A E D (自動体外式除細動器)を増やしてほしい。			
全庁的に検討していきます。平成22年3月31日現在で、市の施設関係12台、学校関係12台、他病院等施設19台、41施設となっており、我路生活館から一番近い設置場所は、アルテピアッツァ美唄です。			
取扱い説明は、機械による説明があります。消防署に問い合わせをいただければ説明に伺います。			
この地域に居住している世帯で目の不自由な妻とアルツハイマー症の夫の暮らしづりが心配である。他人が入り込むのは、なかなか難しいので、市の方で対応してほしい。他にも高齢単身世帯が、5世帯ある。			
実態は把握しています。夫婦でがんばっているようですので、日常、気のついた部分があれば連絡してください。困りごとの内容を確認して対応します。			
我路郵便局の扱いは。			
簡易郵便局として、市が委託を受けています。職員体制として4月より男性臨時職員1名、女性嘱託職員2名ですが、11月より男性1名、女性1名での対応となります。			
市民バスはどうなるのか。			
バスの運行について、我路地区については事前に連絡があれば午前の1便は予約制になっているので、予約をいただき運行しております。なお、本年3月に設置した地域公共交通活性化協議会で将来的な交通機関の検討を開始しています。			

開催日時 会場	平成22年10月18日(月) 東4条福社会館	参加人数	11人
<p>< 主な質問・意見と回答 ></p> <p>翠明通と遊縁通が交差している箇所は車いすで渡れないことを承知しているか。また、銀河通アンダーパス東側に間違った標識があったことを承知しているか。</p> <p>健康保険の手続きで役所に行ったが、職員の対応が悪かった。</p> <p>アンダーパス、遊縁通の件は、現場を確認いたします。職員の接遇につきましては、改善するよう徹底します。</p> <p>アンダーパスから翠明通まで歩道がないため、通学路として危険。</p> <p>地域からの要望を受けていますので、整備方法を含めて検討いたします。</p> <p>郷土史料館の「香りの散歩道」の香りのする花木に名前の表示をするといいのではないかと。ほかの公園なども同様。</p> <p>担当に引継ぎをして検討いたします。</p> <p>車道のメンテナンスが悪い。横断歩道や信号機がない。市職員の通勤時にでも確認してもらいたい。インフルエンザ時、ティッシュやマスクを道路に捨てているので、メロディーで注意を促してほしい。</p> <p>あまりにもひどい状態であるのなら、メロディーに掲載して注意啓発します。</p> <p>救急医療ポストを冷蔵庫に入れておいて、火災のときは大丈夫か。</p> <p>冷蔵庫はかなり丈夫ですが、火災の状況により紙の情報を確認できないことも考えられますので、町内会の皆さんに確認することもあると思います。</p> <p style="text-align: center;">〔 救急医療ポスト～緊急連絡先やかかりつけ医、血液型などを記入した紙を筒に入れて冷蔵庫に保管しておくもの。 〕</p> <p>市立病院の医師の増員計画は。</p> <p>医師の確保について、大学や民間の紹介会社などを通じてお願いしており、条件が合わずに実現が難しい面もありますが、さらに努力していきます。</p> <p>アスパラを利用した飲み物の研究や開発を考えてはどうか。</p> <p>過去に、焼酎やジャムを作ったことがありました。栄養価が高いので、今後商品化に向けて研究いたします。</p> <p>市立病院の受付職員の対応が悪い。</p> <p>院内で対応について話し合う場を設けたり、接遇研修を通じ改善に努めます。</p>			

旭通の拡幅について関係町内会名で要望書を提出している。町内会を動かしてまちづくりを進めたら良いかと思う。

町内会より多数要望を受け、地域の課題として認識しています。なお、要望に対しましては、その都度回答しています。

要望内容が取り入れられて、実施されているものはあるのか。

翌年度の予算編成で優先順位を判断して対応しています。

食の駅とアンテナショップの関わり、アンテナショップの売り上げ、ピパマートの売り上げは。

食の駅の基本構想では、食の駅の必要性を探ることとしています。アンテナショップは月50万～300万円程度、年間で2千万～3千万円。ピパマートは、年間1千万円程度。経費として売り上げの15%を充ててまかっていますが、経営的に厳しいところで現在の倍の売り上げが必要な状況です。

アンテナショップは市の運営ではなく、商工会議所に委託して3名が働いています。

アンテナショップの位置について将来の美唄富良野線の開通を見越し高速道路インター近くの場所は考慮しているか。

交通量を考えて、国道12号線沿いを選びました。

開催日時	平成22年10月18日(月)	参加人数	8人
会場	東福社会館		
< 主な質問・意見と回答 >			
市立病院の患者のシェアは。			
国保加入者では、市立病院が30%、せき損センターが30%強、残りは民間と市外の病院となります。			
アンケートでは、市立病院の充実との回答があるが、市民は市立病院を利用していない(協力していない)のではないかと。救急車は、岩見沢、砂川に30分で到着できるのだから地理的に恵まれているのではないかと。			
一次～三次医療の切り分けが大切です。現在一次医療を充実させていくことが求められています。保健や福祉と連携を取って、トータルで適切な対応をしていく必要があります。			
救急、透析、医療型療養病床については現状、市が担っています。			
第6期美唄市総合計画は市から市議会へ提案するのだが、議会からの提案はないのか。			
市議会は、市から提案したものを審議していただく立場です。市議会では、特別委員会を設置して議論いただきたいと思います。			
10年計画のなかで、食・農・アートとは。			
10年間、まちの活力づくりのために、美唄の「強み」であるこの3つを最大限活用していくという考え方です。			

都市像については、キーワード、テーマとして、弱いのではないか。まちづくりとして、道営住宅がまちなかにできることだし、遠くに住んでいる人を、いかにまちなかにもって来られるか、それぐらいのものを挙げるべきでは。

「食」・「農」が一次～三次産業を絡めてまちの活力づくりに貢献していくという意味であり、加えて感動と共感が伴う文化として「アート」が必要と考えています。

都市像を明確にするという点で、食、農、芸術、文化、教育都市として発展していくことは理解できる。食、農とアートが響きあうとは、ピンと来ない。アートより芸術では。アートではアルテピアッツァ美唄をイメージする。財政状況については、くわしくわかりやすいものでなければならない。監査委員がまとめている意見書はいいものだと思うが、議員や市民がわかるものとして出してほしい。

計画についても財政に関する資料についても、分かりやすいものとなるよう努力していきます。

道路が平坦でない。高齢者が自転車に乗った場合のことを考え、道路を直してほしい。

道路の状況については、確認して連絡いたします。

市民バス東線で「東6条」の停留所は東7条にある。

バス停の位置については、早急に調べます。

(調査したところ、東6条にあったものを周辺環境の関係から現在地に移動した経過があったことが分かりました。バス停の名称変更を検討しています。)

バス停留所の除雪がなされていない。

除雪の徹底をします。

消火栓の除雪は、誰が行っているか。地域住民に協力を求めることも良いのではないか。市の職員は、土日にボランティアでやっているのだからPRをするべきでは。自治会や地域にやらせたらどうか。組織化して取り組むことで経費を浮かせると、市民の負担(税)は減るのではないか。

消火栓の除雪については、地域(旭通り南側)と職員が共に取り組んでいます。消火栓やバス停留所除雪等につきましては、こういった仕組みにすれば良いか検討いたします。

国勢調査員の指導員の教育がなっていない。

郵送での回収が新たに受け入れられましたので、丁寧なご説明をするなど改善します。

若い人が美唄で就職できなくて、美唄から離れていくのが残念。企業誘致にも力を入れてほしい。初めて参加したが、希望の持てるまちづくりに向けて取り組んでほしい。

製造業は、中国等、国外へ進出している状況から誘致は難しい状況になっています。地域に特化したものを作っていくことが大切なので、現在は雪の冷熱エネルギーを活用するデータセンターの誘致を考えています。

総合計画の6つの柱の中に平和に関することが抜けている。2の人と文化を育み交流が広がるまちづくりに力を入れるべき。

柱の並べ方の順番を変えてはどうか。

協働のまちづくりでは、憲法の下の方になっていない。ニセコ町の文面を見習うべき。美唄の表現は上から目線となっている。

基本構想-計画-インデックスとなっているが、一步踏み込んで、質を高めてほしい。市民の立場で努力をするので職員もがんばってほしい。

これからは人のつながり、地域コミュニティが大切だと思いますので、そのようなことを基本として取り組んでいきます。いただいたご意見はそれぞれ検討したいと思います。

開催日時 会場	平成22年10月19日(火) 茶志内中央福祉会館	参加人数	7人
<主な質問・意見と回答>			
茶志内地域は、市営住宅が数箇所あったが、まちなかに集められている。地域を大切に人口が減らないようにしてほしい。			
それぞれの地域で生き活きとした暮らしが実現できるよう取り組んでいますが、空知団地もなかなか企業が進出しない状況です。			
美唄の強みである食・農を活かしてまちづくりを進めたいと考えています。			
便利な場所で生活することも良いですが、慣れ親しんだ地域に住むのも良いことだと認識しています。この地域で介護予防も積極的に取り組んでいます。西美唄では地域の行事を積極的に行い、活性化につなげようとしています。			
美唄に買い物に行っても、思うような買い物ができないので、茶志内にプレハブの店舗でいいから週2～3回きてもらえないか。			
農協が計画的にバスを運行しています。また、バス事業者やJRなどが入り、地域公共交通活性化協議会で移動手段の確保について対策を検討しています。			
農業のブランド化とは。			
例えば作物の作り方、また、農産物としての、おぼろづき、ハスカップ等の認知度が低いので、知っていただくこと、品質の良いものを作ること、そして、情報として発信していくことが、農業のブランド化につながっていくと考えています。			
美唄市の死亡率、出生率は。			
平成21年度で死亡が350人、出生が140～150人でした。			

ピパオイの里プラザでハム作りをしていたが、指導者がリタイヤしたため、利用されていない。再開してはどうか。

ピパオイの里プラザは、峰延地区の方が設備備品を持ち込み大豆を使用して、農産加工品を作っています。ハムの加工など利用している方の意見を聴きながら検討いたします。

今日の毎日新聞の社説で、介護対象者について、軽度者よりも重度者を重んじるような記載があったが、地域の実情にあわせたサービスについて、どう考えているか。

美唄の高齢化率は32.7%、国は22%です。高齢化が進んでいる地域は、介護保険で対応しています。美唄は高齢化が国より10～20年進んでおり、国に先駆けて、貯筋体操等を実施して介護予防に取り組んでいます。

茶志内のパークゴルフ場の草刈について、現在40名いる会員が、高齢化しているので、1カ月に1回草刈をしてほしい。

草刈については、市の職員がボランティアで行っていますので、方法などを検討いたします。

市役所1階ロビーのテレビで市議会が放映されているが、答弁が聞きづらいので、マイクに近づいて答弁してほしい。

わかりました。

開催日時 会場	平成22年10月20日(水) 東明西福社会館	参加人数	8人
------------	---------------------------	------	----

<主な質問・意見と回答>

アンテナショップで「ル・メール」の販売はしないのか。

アルコール飲料の販売は申請して販売許可を得るまでに時間がかかるので、アンテナショップでの販売は時間がかかっています。

市の計画では7年で40億円を解消することとしているが、初年度で3億2千万円の黒字、今後の見通しは。又、市立病院への繰入額は。

1年でも早く解消したいのですが、国の交付税の見通しは不明な状況です。可能性として期間が短縮されることもあると思います。

市立病院への繰入額は、収益的収支と資本的収支と合わせて、395,532千円で計画通りです。

市民に希望を与えるような、計画のPRが必要。手立てを講じなければ、暗いまち美唄になってしまう。前向きに生活できるような計画にしてほしい。

同感です。美唄の強みをこれからも活かしていきます。美唄は社会に食で役割を果たします。また、文化も大切であり、宮島沼、アルテピアッツァ美唄、市民の文化活動も多数ありますので美唄の特性や地域資源を見極めていきます。

計画の中で、食の駅との位置づけ、関係は。

昨年、食の駅の基本構想を策定、意見募集を行いました。フリーマーケット、食育講座、食の検討組織、地域ICTモデル構築事業のポータルサイトPiPaなどで情報を発信しながら食にこだわったまちづくりを進めるなかで、具体的検証を進めます。アンテナショップでの雇用創出、実証事業、そういった活動のなかで、具体化を進めます。

食の特産化について考えられることは。

総合計画では、農産物を活用して加工、販売につなげていく農商工連携を進めることとしています。

総合計画で、企業誘致についての位置づけを強調すべきでは。

企業誘致は進んでおりませんが、雪冷熱エネルギーを活用したデータセンターの誘致を進めたいと考えています。

高齢化が進んでいる。高齢者の力をマンパワーとして活かした方が良い。

同感です。子ども達と高齢者をつなぐ仕組みを地域として作っていったり、学校の取り組みとして作っていくことが大事です。

犯罪者の年齢が下がっている。学校教育で道徳、修身を入れるべきでは。人の生きる道を子どものうちに教えるべきでは。

グリーン・ルネサンス推進事業で、命の大切さや、農業の大切さを子ども達に教えています。

美唄市の現況が案外わからない。「財政白書」、「教育白書」を作ってもらいたい。

「自治体経営白書」をつくっています。

また、教育委員会では「美唄の教育」という冊子をまとめています。

となり近所の人情が薄くなっているので、情のあるまちづくりがあっても良いのではないか。

お金で解決できないこともあることを子ども達に伝え、人と人とのつながりや、支えあう気持ちを大切にするなどまちづくりの基本にすえていきたいと考えています。

人口に比べて公園が多いのでは。我路ファミリー公園の利用が少ないのであれば、廃止すべきではないか。

我路地区は、昔を懐かしむ方が多く訪れています。我路ファミリー公園にある三菱美唄記念館にも多くの方が訪れますので、草刈り等を行い維持管理していきます。

開催日時 会場	平成22年10月20日(水) 南美唄福祉会館	参加人数	11人
<p><主な質問・意見と回答></p> <p>10年間の取組みの中に、「食・農・アート」は素晴らしいと思うが、南美唄の活性化についての考え方は。</p> <p>南美唄地区は、地域のつながりを大切にされていることもあり、今年発足した校区社協と市の連携による支え合いのしくみづくりに期待しているところです。また、道路や側溝などの整備も課題となっていますので、今後も地域とご相談しながら整備を進めていきます。</p> <p>道路のパトロールの内容、やり方は。</p> <p>1人で、市内全域をパトロールしています。パトロールや住民からの通報で道路の補修などの対応をしていますので、気がついた場合にはご連絡をお願いします。</p> <p>18線の自動車学校の踏み切り付近の道路が穴だらけとなっている。グレーダーでは補修できない。</p> <p>JR用地もありまして、冬は滑り止めの塩カリが線路に付着するため、散布することができません。補修につきましては、砂利で穴埋めしていくこととなります。再度確認して必要な対応をとらせていただきます。</p> <p>南美唄町大通り6丁目のバス停留所より、下4条から9条の道路U字溝が破損している。段差がある。緊急の対応をお願いしたい。下6条5丁目～6丁目の道路整備についても。</p> <p>後日、現場を確認いたします。</p>			

開催日時 会場	平成22年10月21日(木) 進徳生活館	参加人数	3人
<p><主な質問・意見と回答></p> <p>美浦大橋を観光イベントの一角として活用できないか。市内には観光資源もあり、農村地域の道路沿いの草刈をして、道路を広く感じさせることも必要では。</p> <p>アルテピアッツァ美唄、宮島沼、農村の田園風景もありますので、地域の魅力まるごとブランド化推進事業により美唄に訪れてもらうよう力を入れています。他市とも連携を図っていきます。</p> <p>浦臼町とも来年3月に美浦大橋の完成によりつながるので連携に努めていきます。三笠、岩見沢、浦臼のワインと美唄のアルテピアッツァを組み合わせるツアーを作っていくことも考えています。</p> <p>市町村合併は今後するのか。</p> <p>本州と違い、北海道は地域が広いので、市町村合併はあまりメリットがない面もあり、これからは合併ではなく、ごみ・し尿処理などの個別の課題について広域で取り組んでいきます。</p>			

市長公約の道の駅はどうなったのか。

現在、アンテナショップを開設し、消費者の意向調査やPRを先行して行っています。今後、その検証を行い、必要性の検討などを行うこととしています。

観光資源のPRが少ないのではないかと。工業団地の誘致はやめたのか。

製造業の誘致は難しいので、雪冷熱エネルギーを活用するデータセンターの誘致を進めたいと考えています。北海道は食料自給率は200%あり、全国では40%であることと比較しても、北海道の強みである食については、本市でも他の観光資源とともにPRしていきたいと考えています。

ごみステーションで、2週間ごみが放置された場合、以後、市で持っていきやり方を否定しないが、改善につながらないのではないかと。

状況を見ながら今後検討していきます。

自治代表者会議で話題となった救急医療ポストについて、市の対応や予算は。

町内会として取り組むこととしています。町内会の合意のなかで自ら取り組むことで住民の意識が高まるものと考えています。

南美唄小学校への通学路は、冬は道路幅が狭くなり、車が交差できない。通学時間帯は車両の通行止めの規制をしたらどうか。

道路用地を拡幅するのは難しく、子どもたちの送迎などがあり、車両規則も困難な状況です。現状を確認します。

開催日時	平成22年10月21日(木)	参加人数	3人
会場	光珠内福祉会館		

<主な質問・意見と回答>

地域懇談会の市側の出席者が多いのでは。住民参加人数の増加の工夫は。

懇談会の場でできるだけ細かく答えるため関係部長が出席しています。市民の皆さんに直接、接することが大事であると考えていますので、開催方法をさらに検討していきます。

国の補助金に依存しているのであれば、独自に財源を見出すことは。

独自財源である市税は2~3割で、7~8割が地方交付税などとなっていますので、国の影響を受けやすい状況です。

市税の収納率と使われ方は。

平成21年度決算で現年課税分の収納率は96.73%、滞納繰越分の収納率は10.98%で、合わせて85.17%となっています。市税収納対策本部設置、納税相談、職員勤務時間のフレックスタイム導入、電話相談、訪問徴収、タイヤロック等、収納率を向上させる努力をしています。給料や確定申告で還付が発生した場合の還付金の差し押さえも行っています。

市立病院の総合病院のあり方、展望は。

医師は全国で2万4千人不足しているという報道がありました。市立病院はコンパクト化し、看護師、職員数もそれに合わせています。一次医療として、救急、透析、介護療養型病床を維持しています。地域医療として総合医や家庭医的なものも求められていますので、そのような方向で進めていきたいと考えています。

光珠内中央小のグラウンドまわりをパークゴルフで利用しており、使用者が草刈をしているが、グラウンド内の草刈を今年はしていない。

確認いたします。

古紙回収のモデル地区となってほしいと市から依頼があったが、現在、定期的に業者が回収にきており、現状のままで良いと思っている。

町内会で集団回収しているところもありますが、この地域で実施しているのであれば、担当課と詰めていきます。

会館の除雪について、手続きの書類に印鑑を押して提出したが、市から再度印鑑がほしいとの依頼があり、仕事の進め方に不信感がある。

今後はそのようなことのないように確認いたします。

専大がなくなる。若い人が美唄からいなくなる。企業がないと就職できない。

市、議会、会議所、後援会で協議をしており、専大の撤退は認められないと考えています。短大は無理でも専大として教育研修活動は続けてもらうよう要請しています。

25線防風林にごみの不法投棄があり、市役所に連絡しているが、処理されていない。

確認いたします。平成21年度は線路東側を雇用対策により不法投棄のごみを処理しました。臨時職員1名による巡回のほか住民からの通報により対応しています。

同居している認知症の親の対応について相談したい。

市内には、民間が運営しているグループホームとして3箇所、45室があります。在宅の場合は、地域の方の理解や介護の方法で難しい面もありますので、具体的にご相談してください。

地域の要望書は、書面で提出しなければ、対応してくれないのか。処理方法は。

まずはご相談ください。内容によりケースバイケースで判断いたします。基本的には文書でいただいて、文書で回答するようにしています。

幼稚園を閉園した経過は。

まちなかには、私立の幼稚園が2園ありますので幼稚園については私立におまかせすることとしました。中央幼稚園閉園後は、放課後児童施設として使用しています。なお、市の保育所は4施設、へき地保育所は4施設あります。

ビバイクシユンベツ川の築堤についての見通しは。

下流の第2幹川から整備していますので、引き続き国に要望いたします。

開催日時 会場	平成22年10月22日(金) 西美唄福祉会館	参加人数	7人
------------	---------------------------	------	----

<主な質問・意見と回答>

西美唄小学校の推移、学校はなくなるのか。

全学級が複式学級になれば、学校の統廃合を検討する目安としていますので、その際には地域とご相談させていただきます。

何人になれば複式となるか。

2学年、16人で複式学級となります。各学校では放課後児童対策を行い、西美唄は中央小に送迎していますが、地域に作ることも考えています。なお、西美唄小学校の統合については今のところ考えていません。

計画期間が10年というのは長い気がする。事業を進めるうえで人口の推移は大切。

第5期計画の成果は。

計画期間を10年としたのは、10年後の目指す方向を決めるということです。具体的な方策や事業は、3年～5年で設定し、随時見直します。現計画では、人口を31千人と設定し、福祉、環境、交流を重点方向としてまちづくりを進め、それぞれ一定の成果がありました。

第5期総合計画で達成されなかったものは今後やらないのか。

達成できなかったものは、引き続き第6期総合計画の中で取り組んでいきます。

介護施設に対する市の対応は。

民間が計画して用意しており、計画段階で市と相談しています。市の施設としましては、恵祥園1箇所です。

市が目指した福祉の充実が民間がやったことで達成されたのか。

人口の1/3が高齢者であり増えていますが、民間の事業者の方に努力していただいているほか、市でも、国に先駆けて介護予防に取り組んでおり、現在、貯筋体操を行い、介護認定者を増加させないよう努めています。

専修大学がなくなった場合の損失は。

専修短大があることによる経済効果は約5億円と見込んでいます。短大としては来年度からの学生募集はしませんので、違う目的の教育研修活動等で使用してもらおうよう要請していきます。下宿・アパートの改修もあると思いますが、個々の事情もありますので、何らかの形で残してもらおうよう要請していきます。

自衛隊の見通しについては。

今のところ大きな動きはありません。全国的には見直しがあると思いますが、今のところ道内の駐屯地などの体制の縮小は、考えていないとのこと。

農業における後継者問題について、市の取り組みは。

農業振興のなかで、人の確保は重要です。農業へ小さいころから興味を持てるようグリーン・ルネサンス推進事業の取り組みや、新規、Uターン者の育成を支援し、法人化、道外の人への研修支援策を検討します。

後継者問題は市単独で取り組むのは難しく、また、すぐに後継者ができるわけではありませんが、授業の中に組み込んだグリーン・ルネサンス推進事業で食の大切さを教育していきます。

農業基盤整備事業における農家負担分は。

農業基盤整備は美唄は面積が3000haと大きいので、道営事業より負担の少ない国営事業で行うこととしています。今年は国に採択されませんでしたので、平成24年度より実施するよう要請いたします。負担は市が4%、地元住民が3%です。

市外より通勤している市職員がいることについて。

採用時には条件はありますが、法律的に規制はできません。市外通勤職員は、現在、数人おり、それぞれ家庭の事情などがあります。

鳥獣被害についての対応は。

アライグマの駆除はオリを仕掛けて捕獲に努めています。被害の額、状況については、把握していませんが、農協の協力を得て調査していく予定です。シカについては電気柵が効果があると聞いています。

砂利の量を増やすなど、道路事情を良くしてほしい。道々の段差があり、高くなっている。

毎年地区を決めて春に砂利敷き工事を発注していますので、道路管理担当に問い合わせをお願いします。また、道路の草刈を道路愛護組合に依頼しています。他の部分は職員が年2回実施しています。

道道の段差は、空知総合振興局に要請します。

まちづくり地区懇談会の時期を遅くしてほしい。回覧して周知しているが、今日は天気が良く出席者が少ない。また、光回線の導入の見通しは。

開催時期は検討いたします。光回線は、市中心部より拡大していますが、他の地域についてはNTTとも協議をしていくのでもう少し時間をいただきたいと考えています

開催日時 会場	平成22年10月22日(金) 峰延福祉会館	参加人数	6人
------------	--------------------------	------	----

<主な質問・意見と回答>

人口減でコンビニが移転し農協の営業時間が短い。買い物が不便でこのままでは買い物難民となる。

東美唄、日東、茶志内などでご不便をかけています。試験的に週1回、美唄農協とコアビパイがバスで送迎しています。ご利用いただいている方は1便当たり10名~20名です。

これまで人口減の対応として、企業誘致に努めましたが、数社のみとなっています。

今後は交流ツアー、修学旅行生の受け入れ、会議所などと取り組んでいる移住・定住推進協議会のほか、インターネットを活用して民間の不動産情報を掲載するなど人口減対策を行います。また、岩見沢-滝川間の若い方を対象に市の保有地、道の保有地の活用を検討しております。企業誘致では雪冷熱エネルギーを活用するデータセンターの誘致を進めたいと考えています。

長期展望の人口推移が現状と整合してしないので正確な数値で示すべき。通勤圏としてもJRが1時間に1本では若い人が来ないので。峰延は普通列車のみ、JRに本数増加を要請してほしい。

今後10年間、人の減少、高齢化、雇用、足の確保、医師不足は地方共通の悩みであり、前例のない課題となっています。日本全体が2005年をピークに人口が減少している中、食という切口から、美唄の強みを活かしていきます。農産物の生産、加工、販売を地元で一連の流れとして行っていきます。

お金がまわると、雇用が増えるので北海道の優位性を活かし、食を通じて消費者にPRいたします。

灌漑溝にツツジを植えたい。市の予算が無理であれば市より改良区に要請してほしい。

用水路は多面的な役割を持っておりますので、改良区に要請いたします。

アルテピアッツァ美唄周辺は厚別の森林公園と比較して、オゾンが多いと聞いている。科学的数値の調査をしてはどうか。

今後検討いたします。アルテピアッツァ美唄は、先日、来美した山口県宇部市長やイタリア大使より高い評価を受けています。

転作、輪作体系の取り組みは。

麦、大豆、緑肥で前、後作を指導しています。1年休ませる輪作体系がとれれば良いが、美唄は土地が狭く、収益も上がらないため、現状としては難しい状況です。

輪作体系の中でとうきびを入れるのが良いので、輪作に加えてほしい。

研究機関と研究を行いたいと考えています。

そばの耕作面積は、等級は。

作物別の作付面積で3~4番目です。等級の向上は美唄の食をブランド化するうえで大切です。

国道の4車線化の実現、進捗状況は。

峰延方面については、国に要請を続けていきます。

安く土地を提供するなど美唄の定住促進策を持つべきでは。

未利用となっている道有地の活用について、経済団体の皆さんと勉強会をしたいと考えています。

移住・定住促進の事業で、短期滞在の受入れとして、アパートやマンションの空き室を活用しています。また来たいとアンケートで答えている人もいます。安く土地を提供するだけでなく、体験メニュー等、質を高めることが必要と考えています。

開催日時 会場	平成22年10月24日(日) 市民会館	参加人数	8人
------------	------------------------	------	----

<主な質問・意見と回答>

美唄から通学している学生だが、友人より美唄には何があるのかと聞かれる。

相乗効果のある農業、アートは素晴らしいと思うが、「食」を特色づけるもの、メインとなるものはあるか。

美唄は農業でがんばっています。一品ということではありませんが、今後は農産物加工に力を入れて美唄の「食」の魅力をさらに高めていきたいと考えています。

アンテナショップについて、茶志内に作る計画はあるか。

食の原材料となるものの被害は？ヒグマ、エゾシカ、アライグマ、キツネの捕獲した数、被害面積は。

アンテナショップは平成21年7月にオープンしました。3年間の事業で緊急雇用対策として行っており、国道12号を行き来する人を対象に、特産品を知っていただいて売れゆきを検証する目的で運営しています。

次年度以降の場所の選定については、出店者協議会で検討します。

鳥獣対策については、生活の危険防止対策としてヒグマ1頭、農業被害対策としてエゾシカ33頭で被害面積は2~3ha、外来種のアライグマ21頭、エキノコックス対策としてキツネ42匹を捕獲や駆除しています。

駆除のための猟友会が高齢化で大変なのは。市の職員も免許を取ったらどうか。

北海道猟友会美唄支部(美唄浦臼地区)として、人数が減少しています。ヒグマの駆除は経験豊富なベテランでないと対応が難しく、担当職員にはワナを仕掛ける免許を取得するよう育成しています。

総合計画は、財政、人口がマッチしなければうまくいかない。住民基本台帳では、1割が美唄に居住していない。財政の裏づけ、人口の裏づけが必要だと思う。シビアに計画を作るべきでは。

国の成長戦略もありますが、現実的には人口対策は難しい面が多いと感じています。2005年より人口減少時代となっています。戦後は、農業、石炭でまちづくり、閉山後は製造業の誘致など取り組んできましたが、近年は海外への工場進出等、まちづくりが変わってきています。世界人口が増加し続け食料問題もあり、美唄市は食料という資源がありますので、一次～三次産業を合わせて市内でお金を循環させて、人を呼び込み、定住につなげていきます。

歴史文化を活かしながら計画を作成することが大切と考えており、世界的にも食のウエイトは大きいので、そのような視点で美唄の新たな歴史をつくっていきたいと思います。

総合計画を審議する委員を美唄にゆかりのある市外に住んでいる人を1人か2人選ぶべきでは。

そのとおりです。ポータルサイトP i P aの通販によるコメント、札幌美唄会、東京美唄会の集いでの話や視点を大切にします。

修学旅行の受け入れ方法は。

空知管内の各市で、受け入れに関しての協議会である「そらちDEい～ね」や旅行会社と各学校とで1年前より協議しています。農業体験がカリキュラムとして日程に入っており、1日又は1泊して他の市町村に移動しています。日帰りよりも宿泊のほうが多く、農繁期の受け入れが多いです。

「ル・メール」をコアバイと農協に限定した理由は。

市内の酒屋、セブンイレブンで販売しています。セブンイレブンでは完売し10月13日に再製造している状況です。

集中豪雨が美唄にきた場合、排水機場が8箇所あると思うが、以前に機能しなかったことがあった。その後はどうか。

湛水防除のため、市内には茶志内、開発、上美唄、沼の内の4箇所の排水機場がありますが、想定外の大雨の場合は対応できない可能性もあります。

低額所得者のための高齢者福祉施設がない。恵風園の改築予定はあるか。

恵風園は介護保険施設ではない施設で、改築の予定はありません。個人の収入により、負担額が異なり、6割から7割程度市に納めていただきます。

介護付老人ホームは、滝川あたりで、15～16万円です。介護保健施設の個人負担は、全部で12万円程度ですが、ご相談を受け付けています。

旭山動物園の園長が講演に来るが、大東亜戦争のときの沖縄の話を聞きたい。

講演会については、次の機会に検討したいと考えています。

市内の民間病院の移転のうわさは本当か。

病院移転の情報は正式な連絡が入れば、対応いたします。

学校統合後の跡地利用について。

学校統合後の跡地利用は、それぞれ検討しているところです。

小中学校の教職員の駐車場使用の有料化について。

小中学校の教職員の駐車場使用の有料化についても検討いたします。

内地では、学校統合後の跡地一面に菜の花を植えて、バイオエタノールを作っている。跡地を有効活用すべき。

さまざまな事例を参考にして検討いたします。